

魅力がいっぱい！行こうよ！ 道の駅ふたつい～きみまちの里～



平成30年7月にリニューアルオープンし、以降能代市の人気スポットとなっている道の駅ふたつい。令和5年7月に、リニューアルから5周年を迎え、入場者数は500万人を超えました。

24時間利用できる駐車場、トイレ、休憩コーナーのほか、新鮮な野菜や旬な食材が集まる産直・物販コーナーやレストラン、3×3バスケットボールコート、ドッグランなど、多様な設備がそろっています。レンタサイクルやカー体験の実施など、アクティビティも充実。

また、屋内で天候に左右されずに遊べるキッズコーナーや、ベビシート、授乳スペースなどを設置し、子育て家庭も訪れやすい環境づくりにも配慮しています。

期間限定商品の開発・販売などを行い、何度も訪れたくなるような工夫が凝らされています。

今回は、来場者数県内上位を維持し続ける道の駅ふたついの魅力をスタッフの活動や努力とともにご紹介します。

産直・物販コーナー



二ツ井地域を中心に、主に県北地域の食材を取りそろえています。春の山菜、秋の新米といった、その時期ならではの食材のほか、地元の方が作ったお菓子など、道の駅ふたついでしか買えないものを求めて多くの方が来場します。

鮮度と陳列を特にこだわり、生産者の想いを最大限に表現することや、お客様に季節感を味わってもらえることを意識して工夫を凝らしています。1日の中でも定期的に鮮度チェックを行い、常に新鮮な野菜を販売。午後にも新鮮な野菜が手に入るのが道の駅ふたついの魅力です。

スーパーでなかなか見ることのない珍しい種類の野菜が入荷することも。生産者から聞いたおすすめのお食べ方などをポップで紹介し、生産者とお客様をつなぐ役割を担っています。

新鮮な野菜は生産者さんのタイミングで入荷するため、いつ、どんな野菜が販売されるかは当日のお楽しみ！

道の駅ふたついでヒストリー

昭和57年
平成3～5年

二ツ井総合観光センターオープン
歴史資料館、リフレッシュユートイレ、テニスコート、遊びの広場など完成

平成6年4月26日

道の駅として登録



平成15年2月

自転車駐輪場（パークりんりん）オープン

平成17年10月

農産物直売所（きみまち杉ちよくん）オープン



平成28年1月27日
平成30年7月15日

「重点道の駅」に選定
現在の場所へ移転

グランドオープン

令和5年3月31日
令和5年7月

全国初「M-Z B.E.ステーション」に登録
入場者数500万人を突破

